

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台教授（チリ観測所）

1. 教授 1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所
(2) 三鷹（観測所の長期的な体制の最適化の中でチリ赴任となる可能性がある）
3. 電波天文学
4. 国際的連携の中でのALMAの定常運用の確立、そしてALMA/ASTE/野辺山45mミリ波望遠鏡等を使った科学研究のプロモーションにおけるマネジメントを担う。また、チリ観測所の若手職員の研究活動を援助しつつ、研究者コミュニティや、国内、他国そしてJAO等のチームメンバーと良好な協力関係を構築し維持するリーダーシップを発揮すること、さらにface-to-face会議やビデオ会議、電話会議等での十分なコミュニケーションをとることができる英語力が必要である。主たる職務については詳細のWEBページ (<http://www.nao.ac.jp/about-naoj/recruit.html>) を参照のこと。
5. (1) できるだけ早い時期
(2) なし
6. 天文学または関連する分野で博士の学位を持つ方。
7. 以下の書類（英文）をpdfファイルとし、電子メールに添付して送付してください。(1) カバーレター、(2) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に

記入してください）、(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別し、共著の場合は役割分担を記すこと）、(4) 主要論文3編のpdfコピー、(5) 職務に対する抱負と計画、(6) 本人について意見を述べられる方の連絡先（複数）、(7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先（e-mailアドレス、電話番号）。

8. 2014年2月20日(木) 17時 ※日本時間 必着
9. (1) 国立天文台長 林 正彦
e-mail（応募専用）：apply-alma-prof20140220@nao.ac.jp
メールのSubject欄に“application for Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください。
(2) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫
e-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp
メールのSubject欄に“question on Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください。
10. すべての応募書類（上記7.の(1)～(7)）はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること。ただし、各書類をまとめて一つのpdfファイルにしたり、また、ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないでください。
 - pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください（メール1通最大10MB程度まで）。
 - 応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません。
 - 応募書類が受理されると3営業日以内に確認のメールを送るので、それが届かない場合には、apply-alma-prof20140220@nao.ac.jpへお問い合わせください。
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/recruit/index.html>をご覧ください。

京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室教員

1. 准教授または助教1名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 宇宙物理学教室
(2) 京都市
3. 光・赤外線天文学
4. 宇宙物理学教室・附属天文台で推進中の3.8 m新技術光学赤外線望遠鏡計画について、装置開発あるいは関連する観測的研究を積極的に推進し、それを通して大学院生、学部生の教育を行う。岡山への長期出張の可能性あり。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 任期なし
6. 博士の学位を取得しているか、または採用時に取得が確実なこと。
7. (1) 履歴書、(2) 論文リスト(査読付き雑誌に掲載されたものとそうでないものを区別すること、また特に重要な論文3編までに印を付けること)、(3) 研究歴(A4で2頁程度)、(4) 研究計画書(A4で3頁程度: 希望の職階を明示すること)、(5) 応募者について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先。
8. 2014年1月31日(金) 午後5時必着
9. 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科 宇宙物理学教室
教室主任 長田哲也
Tel: 075-753-3903 Fax:075-753-3897
e-mail: nagata@kustro.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒に「人事応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付すること。応募書類は、お返ししません。
11. 書類選考の後、面接を行うことがあります。京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。
5. (1) 決定後なるべく早い時期 (2) なし
6. 博士の学位を有する方
7. (1) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績の他に、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合には、果たした業績を具体的に記入してください)
(2) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し、共著の場合には分担した役割を記すこと)
(3) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください)
(4) 評価書2通以上(ただし、評価書は評価者から直接評価受付E-mailアドレスへ提出するよう依頼し、評価者の氏名、連絡先を記載すること)
8. 2014年2月21日(金) 17時必着
9. (1) 応募書類はapply-miz-prof20140221@nao.ac.jpへ、評価書は評価者から直接reference-miz-prof20140221@nao.ac.jpへメール添付で送付
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台財務担当副台長 小林秀行
e-mail: hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp
10. ・すべての応募書類(上記7.の(1)~(4)はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること。各書類をまとめて一つのpdfファイルにしないこと。またZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。)
 - ・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(10 MB程度まで)
 - ・応募書類が受理されると3営業日以内に確認のメールを送るので、それが届かない場合には、apply-miz-prof20140221@nao.ac.jpへお問い合わせください。
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。候補者が男女同等の評価を得た場合には女性を優先的に採用いたします。詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodou/>をご覧ください。

国立天文台水沢 VLBI 観測所教授

1. 教授 1名
2. (1) 国立天文台水沢 VLBI 観測所
(2) 岩手県奥州市水沢
3. 電波天文・電波位置天文(VLBI)
4. 国立天文台がこれまでに進めてきた高精度位置天文学研究(VERA計画)を総括するとともに、日本、韓国、中国と共同で進めている東アジア VLBI 観測研究を推進するリーダーシップを発揮できる人材を求めます。

国立天文台水沢 VLBI 観測所研究員

国立天文台水沢 VLBI 観測所では、VERA 計画に参画し多くの研究成果を上げることを通じて研究者としての基盤を確立していただくことを目的とし、「国立天文台研究員(水沢 VLBI 観測所プロジェクト枠)」を以下の要領により公募いたしますので、奮ってご応

募ください。

1. 1名
2. 東京都三鷹市もしくは岩手県奥州市で、採用後の研究・勤務内容によって定める。
3. VLBI位置天文学／電波天文学
4. 裁量労働制。勤務時間の半分までは、水沢VLBI観測所プロジェクトが実施しているプロジェクト観測に関連する業務（網運用による観測業務、観測結果の解析業務）等を行う義務があります。また、個人の研究課題においても、VERAによる位置天文学や大学連携VLBI観測、日韓結合アレイによる観測などで成果を上げることが推奨されます。また、国際的な連携観測が多く行われるVLBI観測において、海外の研究者との会議や議論が行える英語力があることも望まれます。
5. (1) 平成26年4月1日以降
(2) 原則として着任日より3年間ですが、年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし、平成16年4月以降、既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は、通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。
個別事項に述べられている場合を除き、審査の上、1回に限り、再任が可能。再任後の任期は半年以上2年以下。ただし、通算勤務期間に関する前項の但し書きが同様に適用されます。
6. 博士の学位を取得した者または平成26年3月31日までに取得見込みの者。なお、平成26年9月30日までに取得見込みの者は、その旨を記載のこと。
7. (1) 履歴書（研究歴を含む）、(2) 研究論文リスト（査読論文と、その他を区別し、共著論文の場合は著者名をすべて明記すること）、(3) 研究計画書、(4) 問合せ先（2名）
8. 平成26年2月20日(木) 必着
9. 応募書類は下記提出先へメール添付で送付
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台水沢VLBI観測所教授 小林秀行
Tel. 0422-34-3914
E-mail: hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp
10. 応募書類は返却しませんので、写しで構いません。
11. 年俸制職員として採用され、月額30万円（期末手当等も含む）の給与および通勤手当が支給されます。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男

女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。候補者が男女同等の評価を得た場合には女性を優先的に採用いたします。詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodou/>をご覧ください。

The National Astronomical Observatory of Japan (NAOJ) invites application for the following post-doctoral fellow at the Mizusawa VLBI Observatory.

1. Position: One post-doctoral fellow
2. Field of specialty: VLBI astrometry or VLBI astronomy
3. Working place:
 - (1) Division: Mizusawa VLBI Observatory, NAOJ
 - (2) Duty station: Mitaka, Tokyo or Mizusawa, Iwate
(Depending to duty works assigned to a research fellow)
4. Start of employment: Expected on April 1st, 2014 but negotiable for the day of arrival after selection
5. Term of employment: 3 years, with possible extension of 2 years based on evaluation.
6. Reappointment: After 3-year term completed, the extension of 2 years is possible if it is approved.
7. Status of the position: The payment per a monthly salary of 300, 000 JYE.
8. Work type: Discretionary Work.
9. Required academic qualification: Ph.D. or equivalent in astronomy or related field
10. Duties and responsibilities: A 50% of working time shall be paid to the operation of a VLBI array (VERA) and the data analysis, and also for promoting the scientific activity using VERA. Along with these responsibilities, we also strongly encourage to conduct his/her own scientific research with the joint VLBI array of JVN, Japanese VLBI Network, and KaVA, KVN and VERA joint network. The candidate is expected to have profound knowledge of VLBI sys-

tem and analysis of VLBI data as well as understandings of science fields related to VLBI. Also, it is recommended for the candidate to have sufficient English language proficiency to take part in scientific/technical discussions in face-to-face meetings, video conferences and teleconferences with international joint researchers.

11. Application documents:

- (1) Curriculum vitae (research history to be included).
- (2) List of research papers (peer-reviewed papers should be separated from others.
For co-authored papers, roles played by the applicant should be specified.)
- (3) Your work plan including your own research plan
- (4) Two reference persons, the name, the position and the contact information (e-mail address and telephone number) or reference letter if you could have.

The documents should be written in English but are acceptable written in Japanese.

12. Application deadline: No later than Thursday 20, 2014 (Japan Time)

13. Submission:

- 1) Send your application documents by email to:
hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp
- 2) If you have any question, contact:
Dr. Hideyuki Kobayashi, Professor, NAOJ
Mizusawa VLBI Observatory,
e-mail: hideyuki.kobayash@nao.ac.jp

Notes for application:

- (1) Convert each application document (from (1) through (4) above) to a separate PDF file and attach them to your e-mail for application.
- (2) Make PDF files with appropriate resolution so that they won't be too large (file size: up to 10 MB).
- (3) Upon receipt of your application, you will receive a confirmation mail.
If you do not receive any response from NAOJ, please contact
hideyuki.kobayash@nao.ac.jp

14. Policy for Equal Employment Opportunity:

Abiding by the Equal Employment Opportunity Act for Men and Women, NAOJ is committed to

the realization of a society with gender equality. If two candidates are deemed equal in their performance evaluation, NAOJ will take positive action to employ women. For details, see <http://jouhouk-oukai.nao.ac.jp/danjokiyodo/> (Japanese only).

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

愛媛大学宇宙進化研究センター 教授

1. 2013年5月 (第106巻第5号)
2. 長尾 透 (京都大学・白眉プロジェクト・特定准教授)
3. 2013年11月1日

国立天文台研究教育職員 (重力波天文学) 准教授

1. 2013年7月 (第106巻第7号)
2. 麻生洋一 (東京大学大学院理学系研究科)
3. 2014年4月1日着任予定

平成 26 年度国立天文台フェロー (年俸制特任助教)

1. 2013年10月 (第106巻第10号)
2. 鳥海 森, 西山正吾, 野沢貴也
3. 2014年4月1日

研究助成

公益財団法人 天文学振興財団 平成 26 年度研究助成等応募

当財団は、天文学の振興に寄与することを目的として、天文学に関連する分野の研究、教育および普及活動への必要な経費を助成いたします。

平成26年1月20日

公益財団法人 天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 国際研究支援事業

(1) 研究支援事業

- ・対象：天文学に関する研究に従事する若手研究者
(申請者は原則35歳以下とする)
- ・助成：研究経費(設備備品費, 消耗品費, その他) 1件100万円以下

(2) 国際交流に対する助成

- ・対象：天文学に関する海外での国際交流活動(1カ月以内)に平成26年4月以降参加する研究者
- ・助成：参加に要する往復航空運賃および滞在費の一部。平成24年度の助成件数は1件(約21万円)

(3) 国際研究集会開催および参加に対する助成

①国際研究集会開催に対する助成

- ・対象：平成26年4月以降に国内外において天文学に関する国際研究集会を開催する研究者グループ
- ・助成：1件100万円以下。平成24年度の助成件数は1件(約100万円)

②国際研究集会参加に対する助成

- ・対象：平成26年4月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会(10日以内)に参加, 発表する研究者
- ・助成：参加に要する往復航空運賃および滞在費の一部。平成24年度の助成件数は4件(平均約14万円)

[2] 普及・啓発支援事業

(1) 普及・啓発支援事業

- ・対象：天文学および関連分野の普及・啓発事業を行う個人, 団体
- ・助成：事業経費(設備備品費, 消耗品費, その他) 1件100万円以下, 平成24年度の助成件数は2件(平均約94万円)

(2) 「スター・ウィーク協力イベント」の助成

平成24年度の助成件数は10件(総額45万円)

2. 申込期限：[1]-(1)・(2)・(3)-②, [2]-(1)

は毎年5月末日, 9月末日, 翌年1月末日の計3回
[1]-(3) ①は第1回が5月末日(対象期間が26年7月以降の開催)

第2回が9月末日(対象期間が26年11月以降の開催)

第3回が27年1月末日(対象期間が27年3月以降~27年6月末日までの開催)

[2]-(2)は6月下旬

3. 選考結果：選考委員会で審査の上, 採択の可否については, 各申込期限の約1カ月後に文書で通知します。
4. 報告：[1]-(1)は, 年度末, それ以外の助成は帰国後または開催後1カ月以内に報告書を提出して頂きます。
5. 申請書：ホームページ上にWordファイルとPDFファイルが掲載されています。
6. 問合せ先：公益財団法人 天文学振興財団 事務室
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801
Fax: 0422-34-4053
<http://www.fpastron.jp/>

研究会・集案案内

「銀河学校 2014」参加者募集

東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター木曾観測所では, 高校生対象の天文学観測体験実習セミナー「銀河学校」を毎年開催しています。「銀河学校」では, 木曾観測所の口径105cmの望遠鏡を用いて天体の観測を行い, 得られたデータを解析することで天文研究を体験することができます。天文に関する基礎知識は必要ありません。天文が大好きな方はもちろん,

天文が初めてという方も大歓迎いたします。宇宙や科学に興味をもつみなさんの参加をお待ちしております。

主催：東京大学木曾観測所

日時：2014年3月25日(火)~28日(金)

場所：長野県木曾郡木曾町三岳10762-30
東京大学木曾観測所

対象：高校生(新高校生を含む)

参加費用：7,500円(滞在費, 保険料)

(JR木曾福島駅までの交通費は各自でご負担下さい)

応募方法：以下を明記したものを郵便または, 電子メールにてお送りください。氏名, 生年月日, 性別, 連絡先(住所, 電話番号), 学校名, 学年, 作文(800字程度)

作文テーマ：「銀河学校参加の動機」

好きな天体, 口径105cmの望遠鏡で観測したい天体, 研究してみたい宇宙の謎

など、銀河学校に参加しようと思った動機についてまとめてください。あわせて、銀河学校を知った方法についても記述してください。

宛 先: 〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30
東京大学木曾観測所

e-mail: ggakko@kiso.ioa.s.u-tokyo.ac.jp

応募締切: 2014年2月17日(月)必着

問合せ: Tel 0264-52-3360

(東京大学木曾観測所)

- 詳しくは銀河学校のホームページをご参照ください。
<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/OUTREACH/GS/>
- 応募者多数の場合は作文による選考を行います。その際、天文に関する知識よりも、参加への意欲を評価の基準とさせていただきます。結果は3月初旬に応募者全員に通知いたします。
- 銀河学校は「NPOサイエンスステーション」の協力を受けて開催されます。

会 務 案 内

代議員選挙結果

公益社団法人日本天文学会の第3期代議員(任期2014年度～2017年度)の選挙の開票を12月9日に行いました。有効投票数330通、有効投票数のうち、有効得票総数2829、無効得票総数8、白票493でした。代議員選挙施行細則・第10条により、当選者は得票順に決定しました。また、「当選しなかったもののうちで2番目までの得票のものを補欠とする」(代議員選挙施行細則・第11条)、に従い以下の表のように当選代議員および補欠代議員が決まりましたので報告します。

選挙管理委員会委員長 田中培生

表1. 当選代議員

任期 2014 年度～ 2017 年度		
順位	氏 名	得票数
1	嶺重 慎	132
2	牧島一夫	109
3	佐藤勝彦	103
4	杉山 直	100
5	林 正彦	99

6	犬塚修一郎	96
7	土居 守	96
8	観山正見	91
9	櫻井 隆	89
10	山田 亨	88
11	寺澤敏夫	87
12	縣 秀彦	82
13	松下恭子	79
14	百瀬宗武	79
15	吉田直紀	79
16	太田耕司	73
17	中川貴雄	70

表2. 補欠代議員

順位	氏 名	得票数
18	井岡邦仁	69
19	相川祐理	66

消費税率引き上げに関して

皆さんご存知のように、平成26年度より消費税率が引き上げられます。それに伴い、日本天文学会では、平成26年度以降、下記のとおり対応することを理事会にて決定しました。なお、今回の措置は暫定的で今後の財政状況によっては変更される可能性もありますことをご承知おきください。

1. 年会費は2013年度と同じ
2. 天文月報は各号の税込み価格を20円引き上げる
3. 星座早見盤等の天文学会が販売する物品については、税込み価格を消費税率分引き上げる
4. 年会予稿集は税込み価格を据え置く。

なお、PASJについては、Oxford University Pressと委託販売契約を結んでおりますので、投稿料などの詳細はPASJホームページでご確認ください。

平成26年度以降、会員サービスや学会運営において消費税率引き上げに伴う支出増が予想されます。天文学会では、なるべく会費の値上げはせず、経費削減を進めることで対応していきたいと思っております。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(文責: 日本天文学会庶務理事 中村文隆)

2014年度内地留学奨学金支給者について (報告)

内地留学奨学金選考委員会

委員長 松村雅文

天文月報2013年7月号で表記の奨学金について募集しましたが、応募がありませんでした。したがって、今年度は「該当者なし」となりましたので、ご報告いたします。

その他

2013年ご寄付者名

2013年に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。深く感謝申し上げます。

(敬称略/受付順)

藤井 旭, 日下部元彦, 佐藤克久, 佐藤明達,
難波 収, 植田稔也, 牧島一夫, 顧 力意 (Gu Liyi),
稲田直久

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成26年1月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2014年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)